



2007年 10月 第4週

週間ニュース

vol.170 2007.10.23 tue



〒807-0081 福岡県北九州市八幡西区小嶺3-16-8
tel 093-612-2647 fax 093-612-2653
http://nomi-farm.com mail: nomi1@orange.ocn.ne.jp



急に気温が下がり、厚手の布団と冬用のパジャマを出しました。北の方から、紅葉と雪の便りも届き始めました。

11月の初めは、明治34年11月に、官営八幡製鉄所が作業開始をした記念の祭りです。まだ子どもだった時、街を挙げての起業祭の頃、雪や曇りが降っていたことを覚えています。最近では、雪は希になりました。温暖化？

紅葉はまだですが、待ちに待った金木犀が咲きました。高温と乾燥で、今年は咲かないのかと心配していましたが・・・ホッ！

農と食、そして「くらし」を結ぶ



金木犀の花が咲きました

今週の野菜

モロッコ豆

マメ科インゲン類

モロッコはインゲン豆の仲間です。何故、モロッコ(モロコとも)というのか知りません。大きなサヤ豆に、オランダ豆(大きなキヌサヤ)があります。それと同じで品種改良された国の名を表しているのかも知れません。不確かです。モロッコ豆は、インゲン豆に比べて、大きいので肉質が堅そうに思われますが、実はインゲン豆よりも柔らかいのです。特に、大きくなって柔らかいので、とても便利な食材です。豆類は、夏の高温時期には、花が咲いても、ほとんど結実しません。夏、暑くなる前と、涼しくなる秋が収穫時期です。また、気温が下がると枯れてしまいます。秋の収穫は短期間です。

モロッコは、煮物の色取りやスープ、サッと茹でてサラダ、天ぷら、チャーハン、炊き込みご飯など、いろいろな料理に使えます。今回は、簡単なサラダを紹介します。

モロッコ豆とツナのサラダ

(写真なし)

材料:モロッコ豆、玉ねぎ、ツナ缶、オリーブオイル、酢、塩こしょう

作り方:(材料の量は、好みの量で調整してください。酢とオイルの配合は、1:2です。)

モロッコ豆を沸騰したお湯で1分茹でる。ザルで冷まし、大きめの斜め切りにする。

玉ねぎを、縦薄切りにする。モロッコ、玉ねぎ、ツナを混ぜる。(赤玉を使うと美しい)

オリーブオイル・酢を加え、味を見ながら、塩こしょうを混ぜ込む。皿に盛り、出来上がり!



10月・11月の予定

古代米

黒米・緑米稲刈りが終わりました。

次は、11月10日(土)赤米の稲刈りです。

里山作業、森作り 10/27(土) 里山作業開始式 9:00

現地の状況確認と今シーズンの計画

終了後、希望者で、モロヘイヤの冷凍保存作業をします。持ち帰りあり。

里山作業 11月3日(土) 9:00

野菜 草取り・中耕作業 / 玉ねぎ定植の準備



先週の土曜日、黒米と緑米の稲刈りをしました。少人数でしたが、赤ちゃんも参加し、楽しい作業でした。昭和の二〇年代までの農作業には、田んぼや畑に、籠に入れた赤ん坊を連れて行くのが当たり前でした。一休みする時に、お母さんのおっぱいを飲ませます。そんな景色の中で、子どもたちは育つたのです。だからこそ、ご飯の一粒一粒を大切に食べることが出来たし、食べ物への向きに、「農」という「くらし」とも知っていたのです。



来週10/30(火)は第5週で、野菜セットは休みです。次の配達は、11月6日(火)です。

生産者	野菜 無 - 無農薬 / 減 - 減農薬	下から5品の詰め合わせです。
のうみ	小松菜漬け 無 / オクラ 無 / なす 無 / パプリカ・ピーマン 無 /	
しげずみ	水菜 無 / 新米(夢つくし) 減 /	
ふかまち	モロッコ(太インゲン)豆 無 /	
まつくま	玉ねぎ 無 /	

新米・・・「夢つくし」3合です。今回で終わりです。

水菜・・・葉物野菜の生育が遅れている中で、小松菜に次いで収穫出来るようになりました。次は、ほうれん草・・・玉ねぎ・・・稲築町(嘉麻市)の友人の無農薬玉ねぎです。今回で終わり。

農園では、11月中旬から、来年の春収穫する玉ねぎの苗定植が始まります。

小松菜漬け・・・この秋、初めての青菜の漬け物です。炊きたての新米のご飯と一緒にどうぞ!

特集「むらの思想」と地域自治 内山 眞
はじめに-2
序「伝統的」のもつあやうさ
第一講「家業としての流通」と「農村の持続」
1 地域内流通と広域的流通の役割
2 家業における「持続」と「信用」
3 村の風土や祭りから地域社会の持続を考える
第二講 われわれが守らねばならない伝統思想とは
1 「日本人は徳の徳立が強い」という思想は本当か?
2 日本人の宗教観と西洋の精神論——科学で解明できない世界
3 仏教はかにか土着的思想と融合していったか
4 国家権力は共同体をどう解体しようとしたか
質疑応答
・利用の力が弱まった理由は?
・政治や自治体の未来はあり方とは?
・ナショナリズムとは?
第三講 国家の歴史でなく、民衆の歴史をどうつかむか
1 歴史とはなにか
2 民衆の歴史をどうつかむか

農村文化運動 186
2月に熊本で開催した哲学講習会の報告です。哲学者・内山節氏の「むらの思想」と地域自治の講話を載せています。この「ナ」でも書こうとした内容です。貴重な本です。税込み600円 注文受け付けます。



西日本新聞社の「食卓の向こう側」をコミックにしたものです。子どもたちにも、分かりやすい本です。税込み一千元、在庫あり